

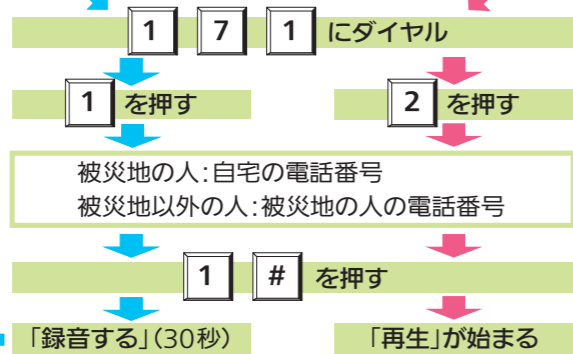


防災まめ知識

災害伝言ダイヤル「171」

伝言を録音する場合

伝言を再生する場合



大規模災害が発生し、電話回線がつながりにくくなった時に、家族や友人と安否確認や避難場所の連絡などをするために、伝言を残したり聞いたりすることができるサービスです。「171」にダイヤルし、案内に従って録音や再生をします。伝言は1回30秒まで、保存期間は48時間。



家族で今やろう！

家族で話しながら書き込んでみよう！

■家族のデータ

名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー	かかりつけの医療機関・電話番号

■緊急時の家族の連絡先

名前	TEL (携帯)	TEL (会社・学校)	住所

■親戚・知人の連絡先

名前	TEL (携帯)	TEL (会社・学校)	住所

■家族の避難場所・連絡方法

避難場所	
連絡方法	

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。平成27年9月茨城県で鬼怒川が決壊した関東・東北集中豪雨。そして同年8月には、芳賀町東水沼で竜巻が発生し住宅の屋根瓦がめくれるなどの被害がありました。

このように、ここ芳賀町でも地震や集中豪雨、竜巻など自然災害による被害が発生しています。災害はいつ、どこで、どのように起こるか分かりません。突然やってくる災害から身を守り、被害を最小限に抑えるため、日ごろの備えや、災害発生時の行動など、「防災」について考えてみましょう。

まずは自助・共助・公助を理解しよう！

自助とは…自分の身を自分で守ること。
 共助とは…地域の人たちでお互いに助け合うこと。
 公助とは…役場や消防署、警察署などによる救助・支援のこと。

Q 防災の基本は「自助」って聞いたけど、どうして？

A 「自分の命は自分で守る」ことができれば、家族や友達、近所の人たちを助けることができるからだよ。自分が元気なら「救助する人」になれる。「救助する人」が多い地域は、防災に強い地域と言えるね。

Q 自助力を高めるには？

A 事前の備えが重要だよ。自宅に緊急避難グッズや非常食を準備してあるかな？ 家具の転倒防止や住宅の耐震補強も自助への取り組みの一つだね。今すぐできることとして、家族の情報を記録しておくことも災害への備えだよ。

Q 災害が起きたら役場が助けてくれるよね？

A 大規模な災害時には、役場、消防、警察、医療機関などによる「公助」にも限界があるんだ。その限界を超えた場合は、町民の皆さん全員への対応は難しくなるし、また公助を行う役場などが被災してしまうことも考えられるよね。そんなとき助けてくれるのが「共助」だよ。自分や家族の安全が確保できたら、近所や地域の人たちは大丈夫かな、と気にかけてみよう。過去の大きな災害でも一番多くの人命を救助したのは地域の人たちによる共助だったんだよ。